

名 称 所 在	用 途 (令別表)	発 生 日 時 等	構 造 ・ 階 層 面 積	焼 損 程 度 (焼 損 面 積) 延 面 積	死 傷 者
の だ や 去 留 庵  静岡県修善寺町 修善寺741-1	旅 館  (5)イ	昭和46年1月28日	耐火(本館) 5%	全・㊦・部・小  880m <sup>2</sup>  (28%)	死者 2名  傷者 2名 ( )
		出火0時50分ころ 覚知0時55分 覚知別 警察電話 鎮火1時50分	建 延 3,098m <sup>2</sup>		

I 火災概要							
① 概 要	本火災は温泉旅館における深夜の火災で宿泊者が泊っている階の下階から出火し、早期に自動火災報知設備で火災覚知しているものの夜間警備態勢の手薄なことから、宿泊者の熟睡も手伝って避難時期を失って2名の死亡者が発生した火災である。						
② 階 別 状 況	階	床面積 m <sup>2</sup>	焼損床面積 m <sup>2</sup>	用途(売場)	在館者	死 者	避難設備等 消防用設備等
		(本館)					屋内階段 2箇所 (1F~5F) なわ梯子 3箇所 (場所不明)  ③ 各階設置 9本  ④ 10ヶ所 (2F~5F)  ⑤ 携帯拡声器  ⑥
	5	}	}	客 室	8		
	4			客 室	7	2	
	③	3,098		客 室			
	2			娯楽室・大広間			
	1			娯楽室・客室	1		
	合計	3,098	880		16	2	
③ 出 火 場 所	(階, 室, 部位, 可燃物状況, 居室・非居室, 在・不在) 3階フトン部屋から出火 内装は可燃材(天井・ボード・壁・合板・床タタミ) 収容物はフトンが多量にあった(広さは10m <sup>2</sup> )				④ 出 火 原 因	不 明	

⑤ 火 災 の 延 焼 経 路 等	<div style="display: flex; justify-content: space-around; align-items: center;"> <div style="text-align: center;">(出火部位) 3階フトン 部 屋</div> <div style="text-align: center;">(出火室の拡大) 内装及びフトン 等の可燃物</div> <div style="text-align: center;">(他階への拡大) 倉庫に直近の 階 段</div> </div>	
	<p>何らかの出火源から発生した火災は倉庫内の取容可燃物（フトンその物）に燃えひろがり、更に倉庫内装及び建具へと拡大して廊下に噴出し、倉庫直近の階段を上り上階客室の可燃性ドア等へ延焼拡大した。</p>	
<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 延焼拡大した主な理由 自動火災報知設備により早い時期に火災覚知されたが当直警備員が1人であったためその後の火災対応（通報・初期消火）が順次遅れて拡大した。</li> <li>○ 煙の伝播経路 3階倉庫より噴出した濃煙は旅館特有の中廊下に充満し、更に南北両端の階段から上階へ伝播していった。</li> </ul>		
<b>II 火災建物概要</b>		
① 建 築	着工・竣工又は主たる改築等 (不明)昭和 年 月 日 ( )昭和 年 月 日	
管 理 状 況	<b>② 縦 穴 の 状 況</b>	<b>③ 防 火 管 理 状 況</b>
	階 段 <input checked="" type="checkbox"/> ダクトスペース <input type="checkbox"/> エレベーター <input checked="" type="checkbox"/> パイプシャフト <input type="checkbox"/> エスカレーター <input type="checkbox"/> その他( ) <input type="checkbox"/> <hr/> <input type="checkbox"/> 南北2ヶ所の直通階段 <input type="checkbox"/> 南側階段室内エレベーター1ヶ所	<input type="checkbox"/> 防火管理者は選任届出済 <input type="checkbox"/> 消防計画は作成されていない。 <input type="checkbox"/> 避難訓練は43年以来実施していない。
状 況	<b>④ 防 火 区 画 等</b>	<b>⑤ 消 防 用 設 備 等</b>
	避難階段は南北2ヶ所あり、防火戸が2ヶ所とも設置されており、防火区画としては適合している。	<input type="checkbox"/> 消火器・屋内消火栓・自動火災報知設備・誘導灯等が設置され管理は普通 <input type="checkbox"/> 非常警報設備は携帯用拡声器で放送設備はなし <input type="checkbox"/> 避難用なわ梯子3箇所あるが設置場所不明

III 火災後の行動						
① 発 見 状 況	<p>○発見者 (当直警備員) ○発見の動機 (自動火災報知設備のベル) ○発見後の行動 (本人が現場確認)</p> <hr/> <p>巡回後午後 11 時 40 分頃就寝しているところ、当直室に備え付けてある自動火災報知設備が鳴動したので、当直は本人 1 人なので現場に確認に行ったところ、3 階倉庫から廊下に煙が多量に噴出しているのので、すぐに 1 階事務室に戻り、主人と従業員に連絡して、再び 3 階倉庫に戻った時は手がつけられない状態であった。</p>					
② 通 報 状 況	<p>通 報 した <input type="checkbox"/> ( ) 発見後約( )分 しない <input checked="" type="checkbox"/></p> <hr/> <p>当直員が 1 名であり、現場確認及び旅館関係者への連絡のみでせい一ぱいであった。なお警察派出所への連絡を付近通行中のトルコ従業員が行っているところから消防への通報も外部通行者が行ったと思われる。</p>					
③ 初 期 消 火 状 況	<table border="1" style="width: 100%;"> <tr> <td style="width: 15%; text-align: center;">消 火 し た</td> <td style="width: 35%;">           成功 <input type="checkbox"/> 失敗 <input checked="" type="checkbox"/>            ○消火時期 <input checked="" type="checkbox"/>            ○消火困難性 <input type="checkbox"/>            ○消火方法 <input type="checkbox"/> </td> <td rowspan="2" style="width: 50%; vertical-align: top;">           (理由又は状況)            当直警備員の連絡で火災に気づいた帳場担当の従業員と第 1 発見者の警備員とが消火器およびバケツで消火したが時期が遅く、初期消火に失敗した。         </td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">消 火 し ない</td> <td>           ○消火時期 <input type="checkbox"/>            ○消火困難性 <input type="checkbox"/>            ○消火方法 <input type="checkbox"/>            ○その他 <input type="checkbox"/> </td> </tr> </table>	消 火 し た	成功 <input type="checkbox"/> 失敗 <input checked="" type="checkbox"/> ○消火時期 <input checked="" type="checkbox"/> ○消火困難性 <input type="checkbox"/> ○消火方法 <input type="checkbox"/>	(理由又は状況) 当直警備員の連絡で火災に気づいた帳場担当の従業員と第 1 発見者の警備員とが消火器およびバケツで消火したが時期が遅く、初期消火に失敗した。	消 火 し ない	○消火時期 <input type="checkbox"/> ○消火困難性 <input type="checkbox"/> ○消火方法 <input type="checkbox"/> ○その他 <input type="checkbox"/>
消 火 し た	成功 <input type="checkbox"/> 失敗 <input checked="" type="checkbox"/> ○消火時期 <input checked="" type="checkbox"/> ○消火困難性 <input type="checkbox"/> ○消火方法 <input type="checkbox"/>	(理由又は状況) 当直警備員の連絡で火災に気づいた帳場担当の従業員と第 1 発見者の警備員とが消火器およびバケツで消火したが時期が遅く、初期消火に失敗した。				
消 火 し ない	○消火時期 <input type="checkbox"/> ○消火困難性 <input type="checkbox"/> ○消火方法 <input type="checkbox"/> ○その他 <input type="checkbox"/>					
④ 消 火 活 動 概 要	<p>(消防上の支障・困難性等)</p> <p>○ 1 階から屋上に行くには屋内階段 2 ケ所しか無く消防隊到着時 2 箇所の階段は、濃煙で充滿されており進入に困難があった。なお東側各室に前にベランダが設置されており、このベランダを活用しての救出に大いに役立った。</p>					

	避 難 方 法	避 難 上 支 障 事 項
⑤ 避 難 状 況	○階段を利用 <input checked="" type="checkbox"/> ( 7 人) ○エレベーター, エスカレータ利用 <input type="checkbox"/> ( 人) ○避難器具を利用 <input type="checkbox"/> ( 人) ○窓, 開口部から直接地上へ <input type="checkbox"/> ( 人) ○救助 <input checked="" type="checkbox"/> ( 6 人) ○その他( ) <input type="checkbox"/> ( 人)	○無 窓 <input type="checkbox"/> ○開口部の格子等 <input type="checkbox"/> ○非常口(出入口)等の施錠 <input type="checkbox"/> ○警報設備 <input type="checkbox"/> (管理不良, 機能不良, 未設置) ○停 電 <input type="checkbox"/> ○その他 <input checked="" type="checkbox"/> 階段が煙汚染
	出火時客は 4 階に 7 人, 5 階に 8 人いたが消防隊到着時 5 階東ベランダに 6 人おり, 消防団搬送のなわ梯子を利用してこの者を 2 階に順次降ろし, 2 階からフンを投げ降しその上に飛び降ろさせ 6 名を救出, 一方 4 階南側階段室(ロビー状)に逃げ遅れ 2 名を発見し, 同階段を利用して救助したものの 2 名, 残る 7 人は自主的に屋上に避難し, 火勢が下火になった頃南階段を利用して無事避難した。	
⑥ 死 者 の 状 況	健康人 2 名 (泥酔者 名) 要保護者 名 [ 乳幼児 名 高齢者 名 身体不 自由者 名 病人 名 ]	避難上支障となった事項 ○無 窓 <input type="checkbox"/> ○開口部の格子等 <input type="checkbox"/> ○非常口(出入口)等の施錠 <input type="checkbox"/> ○警報設備 <input type="checkbox"/> (管理不良, 機能不良, 未設置) ○停 電 <input type="checkbox"/> ○その他 <input type="checkbox"/>
	4 階階段室で発見された 2 名は病院搬送後一酸化炭素中毒死したものであり, 4 階北側階段室直近にある室に宿泊していたが何らかの動機で火災に気づき, 東側ベランダに出ず中廊下の方へ避難し, 下階からの濃煙に追われ南階段に達したが, 煙にまかれ階段室内におかれたものと思われる。	
IV 問題点・教訓等		
1. 屋上に通じる屋外階段か又は避難用タラップの設置が必要である。 2. 従業員に対する教育訓練等(発見・通報・初期消火・避難誘導等)徹底が必要 3. 夜間における警備人員の増加が必要である。(当日は夜警当直員は 1 名しかいなかった) 4. 前 2 との関係で消防計画の作成とそれに基づく実行ある訓練が必要である。		



